革新候補を選ぶか

市政を革新でにぎる意義

「私はだれでしょう」というラジオの番組がある。もし私たちがこのクイズに答えるとしたら何というだろうか。いうべきだろうか。もし外国にいてそう聞かれたとすれば、だれでも日本のだれそれですと答えるであろう。汽車のなかか、旅さきで聞かれたとすれば、福岡県ですと答えるであろう。もしまた福岡県のなかで聞かれたとすれば、何市とか何町とか何村とか答えるであろう。こういうふうに私たちは国県市町村に住んでいるわけであるが、それなら私たちの生活はその国や県や市町村とはどういう関係にあるのだろうか。

▼▼▼ 私たちの生活と市町村・県・国の関係にあるか ▲▲▲

私たちが生れると、出産届をだれば、これは県立である。三年間すが、それは国の役所である戸籍届をだすが、やはり私たちの生活に大きな関係があることはいうまでもない。

僧の保健所である。戸籍届をだすのは市町村役場である。これで、私たちは一人の日本人として登録済になるわけであるが、お世話になるのはしばらくは市町村だけである。私たちが近所とよりの子供たちと遊ぶのはまず市町村の道路である。その道路がいいかわるいか、危いかどうかは私たちの生活に大きな関係がある。もし火事でもあると、これも市町村の消防さんたちが消してくれる。やがて学校へいくようになると、よほどの力ネ持ちや特殊な人は別として、私たちはみんな市町村立の小学校・中学校へいく。

九年間いくのだから、私たちの生活と大いに関係がある。関係があるどころか、この九年の間に、私たちの人間ができあがるのだといってもいいくらいである。学校生活が私たちの生活そのものだといってもいいくらいである。だから、いい先生がいるか、先生方が安心して、生活も心も落ちついて私たちのめんどうを見てくれるかどうか、校舎が、ぜいたくである必要はないが、キチンとしていて教室や洗面所や便所がキレイになっているか、教育の設備や備品などがよとのついているかどうかは私たちにとって、非常に大切なことである。

中学を出て高等学校にいくとすれば、これは県立である。三年間だが、やはり私たちの生活に大きな関係があることはいうまでもない。

中学を出てからにせよ、高校を出てからにせよ、やがては私たちは世間に出るわけだが、そうなると、市町村とも、県とも、国とも、いろいろな関係を持つようになるまず働くところであるが、職場がキチンと労働基準法に従っているかどうか、違反がないかどうかを見てくれるのは基準監督署であってこれは国の役所である。労組や保険や職業紹介などは国と県の役所がやっている。

農家などだと農業指導や供出の面で県や国の農林関係の役所や役人と関係が起って来ることはいうまでもない。商店や事業の経営者もそれぞれ国、県、市町村と何か関係があること、これまたいうまでもないことである。

道路、衛生、保健、教育、産業、職業、警察、消防など国や県や市町村の役所で公務員がいろいろと決議や意見や批判にしたがって県の政府――知事とその役所と公務員――がやる。市町村関係のことは、それぞれの議会と政府（市町村長）がやることは、国や県の場合と同じことである。

▼▼▼ 行財政はどうしてきめ、どうして動かしているか ▲▲▲

行政、財政の根本的なこと、日本全体に関係があることは国がきめている。国の議会がきめた法律にしたがって、国の政府がやるのである。つぎに、県に関係があることは、県の議会がきめた条例や

私たちが私たちの生活を豊かで楽しいものにするためには、国、県、市町村の政府とは一応関係のない方面で私たち自身がいろいろなことをすべきことがあるのはいうまでもないが、国、県、市町村の政府がまともな行政、財政をやってくれるというとまた非常に大切である。その点はいままでにいつできたし、そうでなくともどうしたもこ存じの通りである。

それでは行政、財政をまともなものにするためにはどうしたらいいであろうか。

それは国の場合にすればどんな国会議員を選挙をしたらいいかということである。（総理大臣は国会議員【衆議院議員】のうちから選ばれることになっているからである）県の場合は、どんな知事と県会議員を、市町村の場合は、どんな市町村長と市町村会議員を選挙したらいいかということである。

「どんな」「どんな」とさかんにいって来たが、それはどんな意味だろうか。

それはこういう意味である。国民にせよ、県民にせよ、また、市町村民にせよ、いまの日本には二種の人間がいる。一つは、いままの日本では、自分たちの生活もよくならないし、日本全体もよくならない。だから、明治維新の時の革新のように、今日の日本を大いに革新しようではないかという人々である。つまり革新派である。大体において、労働者、農民小さい商売人、民主的な学者などがそうである。日本人全体の八割も九割も占めているのがこういう人々である。

もう一種の人間は、いまのままの日本でけっこうだという人々である。日本全体のためにいいかわるいか知らないが、いまのままの方が自分には好都合だという人々である。投票を力ネ集めるためにはウマいこともいうが、じつはいままのままの日本を保ち守ろうという人々、すなわち保守派である。日本人全体からいえば一割たらずであろう。

これで「どんな」というクイズの回答ができたわけである。国、県、市町村の選挙で革新派の人々が当選させることである。阿具根参議院議員はウマいことをいっている。会社側との交渉のため労働者の代表をだすというとき、それを労働者のなかから選ばないで、経営者のなかから選ぶ人がありますかというのである。全く阿具根さんのいう通りである。

そこで最も理想的なのは、革新を○、保守を×とすれば、つぎの上のような場合である。最も困るのはつぎの下のような場合である。

	国	県	市町村
議会	○	○	○
首長	○	○	○

	国	県	市町村
議会	×	×	×
首長	×	×	×

国のことは、議会と政府はいつも一体だから別として、自治体といわれる県や市町村の方は、首長と議員とは別々に選挙されるからいろいろの場合がある。両方とも○の場合、×の場合とともに、ちぐはぐになっている場合もあるからである。

▼▼▼ 革新市町村長、革新市町村会議員に何ができるか ▲▲▲

地方自治体（県や市町村）の首長や議員を選ぶ地方選挙があるとよくいわれることだが、地方団体の行政も財政も、国の法律、国の行政、財政でガンジガラメにされている。中央の議会と政府を取らなくては、地方では何もできないだから、地方選挙のことは地方の大ボス、小ボスにまかせておいたらいい。われわれはそんなことに時間とエネルギーを使わないで、中央の政権を取ることを考えるべきだ。――革新派の人々のなかにもこんなことをいう人がある。

これは大へんなまちがいであるこういう考えの人がいるからだけではないが、日本の革新勢力はおかしなかっこうになっている。市町村があり、県があり、そして国があるのである。いわば市町村は土台であり、県が柱であり、国がその上にのっかっているのである。

ほんとうに日本を革新するためには土台からやっていかなければならない。中央が○○になっても地方団体がみな××だったらどうだろう。中央が法律や行政の面でどんな革新政策をうちだしても、地方はサボタージュをやり抵抗をやるであろう。私たちは、国のことと同様に、地方自治体についても、革新派の人々が九割ばあるはずだという実態にふさわしいだけの選挙成績をあげるようにがんばらなくてはいけない。

それにしても革新首長、革新議員に何ができるかということは、多くの人が心配している問題である。それに対して私たちはこう覚えたらいいと思う。

第一に、首長も議員も多数が○○になると空気がまるでちがう。そこにいる公務員の人々も、上の方や議員に気がねしないで、一般の人々、困っている人々のために相談にのり、できるだけのことはしてあげることができる。気がねしながら、さらにはおつかなビクリしながら市役所や役場へいく場合と、私たちの仲間がいるのだと思っていく場合とを考えてみていただきたい。

第二に、市にせよ、町村にせよそれぞれ、かなりのカネと人をもっている。自治体だけで自由に使えないとしても、使い方がある。道路ひとつにしても、カネもちの住んでいるところを先にするか、貧乏人の地区を先にするかは自由である。教育とか、下水とか、産業、職業のこととか、みなそうである。

第三に、自由に使えるカネだって全くないということはない。首長や議会関係で、ムダな飲み食いに使うカネの節約も遠慮なくできるはずである。公務員の諸君が革新首長や革新議員と心から協力してやるだけでもいくらかの節約ができる。自治体としては人も力ネもなくとも、市民、町村民の協力が得られるようになれば、かなりのことができるはずである。

モデル自治体をみんなでつくっていったら、日本もずいぶん違った姿になるであろう。

▼▼▼ 革新首長、革新議員には何でもできるか ▲▲▲

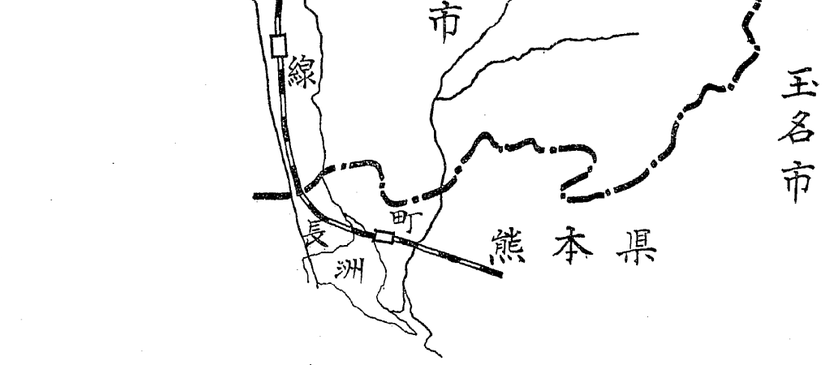
私たちは夢を見ていてはいけない。革新派の首長、議員ができればかなりのことがやれるということは、何でもやれるということではない。

そうでないと、あとになってヤケをおこしたりイヤになったりするからである。私たちは、このうえなく封建的な嫁いじめでは、世界一の旧家にお嫁にいった気持にならねばならない。

しかし、それだからこそ、である。ヨメとシウトの関係ではないが、いまのままの国と地方自治体の方がガッチリしていれば、ナメられないですむことがいくらでもある。国の中央部にも鬼や蛇ばかりいるわけではない。こちらの出ようでは、そして県民や市町村の結集した力がうしろにあればなおさらである。

私たちは、国会の選挙でもそうだが、どうしても地方選挙に革新候補を立ててその当選をはからなくてはならない。

この地域を革新一色に



革新市長は不利か

細谷・坂田両市長と対談

私たちは四年前大牟田、荒尾の両市に、私たちの代表である革新市長を送りこんだ。働くものの要求を掲げて、この四年間仕事をしてきたのであるが、法政部ではこの両市長と四年間の経験を通じたなかから、つぎのような対談をこころみた。背景伝えられる保守政府の下では、地方部市の市長は保守でなければならない、という中傷が全くのデマであることが、対談を通じてはっきりとわかることができた。（問う人＝平島法政部長）

デマを破る実績

誰が失業者の街にしたか

ひらしま　革新市長は保守政府のもとでは交附金その他が、保守系市長より少いといわれるが、これはほんとうのことですか。

ほそや　そういうことを保守系の人はよくいっていますが、全然ちがう。この人たちは失業者であり生活がとても苦しい人たちです。市としてはできるだけのことをしてあげたいのですが、何分染料、鉱山の大量首切りで失業者が激増し、市の財政に大きな負担となっています。できるだけのことをしてあげたいとはいいながら、できかねています。これが現状です。例えば冬の手当が多すぎるといわれるが、どんなに少額であっても、生活保護費の二倍位になるようです。それで中学校の建設、増築が起るとともに、中学生の就職、進学についても準備態勢をとっていかねばならないと思っています。

市政をゆする首切り

ひらしま　さきの議会で革新クラブから三井鉱山の企業整備案撤回が提出されたが、多数で否決されましたね。

ほそや　今迄四年間で顧介は完全に片づいたが、糞尿処理に抜本的に対策を立てて処理すること、第四に墓地公園を考え、市民に立派なものをつくって墓地を積極的に整理していく、これも街の発展、都市計画上大切だと思います。これに関連して市政懇談会で要望のあった各地域の子供遊園地を逐次整備していきたい。また、来年から中学生の二倍位になるようです。それで中学校の建設、増築が起るとともに、中学生の就職、進学についても準備態勢をとっていかねばならないと思っています。

市政をゆする首切り

ひらしま　さきの議会で革新クラブから三井鉱山の企業整備案撤回が提出されたが、多数で否決されましたね。

ほそや　今迄四年間で顧介は完全に片づいたが、糞尿処理に抜本的に対策を立てて処理すること、第四に墓地公園を考え、市民に立派なものをつくって墓地を積極的に整理していく、これも街の発展、都市計画上大切だと思います。これに関連して市政懇談会で要望のあった各地域の子供遊園地を逐次整備していきたい。また、来年から中学生の二倍位になるようです。それで中学校の建設、増築が起るとともに、中学生の就職、進学についても準備態勢をとっていかねばならないと思っています。

誰が失業者の街にしたか

ひらしま　労働者をバックとした市長は労働者、とくに自由労務者のみ可愛がって、農村対策をやらないといわれるが、どんなことをしてきたか。

ほそや　私は農村出身で、農村対策をやらないとは、とんでもない。農村の人たちは、農業の生産費が高くつくことを考えて、農業の合理化、機械化、共同化、共同利用、共同出荷などを考えて、農業の生産費を安くすることを考えて、農業の生産費を安くすることを考えて、農業の生産費を安くすること